

科目名	地域観光振興特殊研究	科目コード	8108	単位数	2
担当者名	山田 勅之	開講時期	1 前	開講年次	1年次

● 授業の到達目標及びテーマ

本講義は観光振興を検討するうえで、必要となる理論を学ぶことを目的とする。

● 授業の概要

観光はありとあらゆるものをその対象とする可能性があり、したがって観光振興論を理解するためには学際的アプローチが必要である。観光研究における問題関心として、「まなざし」、「真正性」、「伝統の創造」、「オリエンタリズム」、「文化の遺産化」、「ホスト&ゲスト」などが挙げられる。これらの参考文献を輪読する。

以上から観光振興という動態をどのようにとらえるべきか、課題抽出力を磨くとともに、博士論文の理論構築の一助とする。

● 授業計画

- 1週目 ガイダンス
- 2週目 まなざし
- 3週目 まなざし
- 4週目 まなざし
- 5週目 真正性
- 6週目 真正性
- 7週目 伝統の創造
- 8週目 伝統の創造
- 9週目 オリエンタリズム
- 10週目 オリエンタリズム
- 11週目 文化の遺産化
- 12週目 文化の遺産化
- 13週目 文化の遺産化
- 14週目 ホスト&ゲスト
- 15週目 ホスト&ゲスト
- 16週目 振り返り・講評

● テキスト

授業時に配布します。

● 参考書・参考資料等

- ジョン・アーリ、ヨナス・ラースン著、加太宏邦訳『観光のまなざし』法政大学出版局
- ダニエル・J.ブーアスティン著、後藤和彦・星野郁美訳『幻影の時代—マスコミが製造する事実』東京創元社
- ディーン・マキャーネル、安村克己他訳『ザ・ツーリスト』学文社
- E・ホブズボウム、T・レンジャー編、前川啓治・梶原景昭他訳『創られた伝統』紀伊國屋書店
- ロドニー・ハリソン著、木村至聖他訳『文化遺産といかに向き合うのか—「対話的モデル」から考える持続可能な未来』ミネルヴァ書房
- ヴァレン・L・スミス編、市野澤潤平他訳『ホスト・アンド・ゲスト—観光人類学とはなにか』ミネルヴァ書房

● 成績評価の方法・基準

課題に取り組む姿勢や進捗状況、質疑応答などにより総合的に評価する。

● 更新日付

2025/01/31 09:43